



# マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために...

## チャレンジ

### 9月号 SEP 2016



2016年8月 3つの台風被害にあった玉葱 美幌地区 8月27日

## 北海道 1週間に3つの台風が上陸 更に...

台風の上陸に伴う大雨で被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

2016年8月17日に台風7号が北海道に上陸しました。それを皮切りに9号、11号と1週間のうちに3つの台風が上陸しました。観測史上でも例の無いことです。河川の氾濫や住宅の浸水、畑の冠水など多くの被害をもたらしました。北海道の農産物が収穫期を迎えていたこともあり、多くの作物に影響を及ぼし、中でも玉葱は多くの畑が冠水したため被害状況が映像で報道されました。非常に悲しい映像でした。その被害状況の取りまとめをしているさなか、今度は台風10号が北海道を襲います。農業だけではなく多くの産業に被害をもたらしてしまいました。その被害の全容はまだ明らかになっていませんが、北海道内の多くの場所で冠水や土砂崩落を引き起こし、道内の交通網を寸断してしまっています。農作物を中心とした本州向けの商品がことごとく滞留している状況です。(2016年9月2日時点)

再三にわたってこのマルト便でも「気候が変わってしまっている」という記事を書いています。台風もまたしかりです。これまで北海道に台風が直撃するということは非常にまれでした。7号の北海道台風上陸は実に9年振りとのことでした。それが立て続けに被害を伴う台風が襲来。そして今後もまだ予断を許さない状況です。人命第1ではありますが、収入に直結する農作物の被害もある意味人命に影響する問題です。被害が最小限で納まるよう祈るばかりです。

弊社としても非常に苦しんだ府県産玉葱がようやく終了し、安定が見込める北海道産玉葱に切り替わった直後に今回の災害となりました。北海道産玉葱は1年のうち9カ月間使用する要の商品です。スタート直後から波乱のスタートとなりますが、ご協力頂ける出荷産地の皆様とともに最大限お客様にご迷惑をおかけしないように進めて参ります。正確な情報を取りつつ、あらゆる選択肢を検討し、お客様にお伝えしていきますので、何卒宜しくお願い致します。

## 『第35期 原点回帰』

株式会社マルト商事  
代表取締役 戸澤 周一

2016年9月1日よりマルト商事は35期目に入りました。弊社が無事に新しい期を迎えることができましたことは、マルト商事に関係するすべての皆さまの御陰でございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

34期は「2つの新」というスローガンを掲げてスタート致しました。設備関係を一新し気持ちも新たにスタートをしました。また、もう一つの新として革新という言葉に据えて、これまでの慣習にとられない仕組み作りを行っていくことをテーマとしました。

2015年11月に、進めていた玉葱加工ラインが全面リニューアルし稼働開始となりました。1997年以来18年振りの全面設備更新となります。多くのお客様にご来社頂き新工場をご視察頂きました。ハード面の体制はある程度整ってきたと考えております。人員のレベルアップ、機械の習熟を図り、より良い商品製造を行っていくように努めて参ります。

また、所沢地方卸売市場内に設けていた「所沢アップセンター」の野菜加工場において、製造能力の向上、商品品質の向上を目的として、野菜の一次加工処理工場を新設しました。2016年8月8日より稼働となりました。玉葱の両切り加工ライン、キャベツの半割芯取ラインを敷設し、原料保管庫も新設しております。お客様の求める品質を実現するために34期も積極的な設備投資を行いました。

また、33期の課題であった府県産玉葱の安定確保に34期は積極的に取り組みました。弊社中核業務の剥き玉葱加工において原料玉葱の安定した品質・量・価格での確保は事業運営において最優先事項です。2014年産府県玉葱の凶作を受けて、34期スタート早々から取組み産地の確保に動きました。結果としては、2014年産を上回る大凶作となり、原料事情は2年続けて最悪の状態となりました。取組産地の強化・分散化を行ってはおりましたが、追いつかなかったというのが正直なところです。2期続けて府県産玉葱でお客様にご心配、ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫びいたします。

34期総括としては、「原料が全て」。弊社の中軸事業である剥き玉葱加工の原料玉葱が想定通りいかなかったがために、設備は良くなりましたが、品質・価格・供給量とお客様に喜んで頂けるような商品供給が全くできませんでした。また、会社としても、原料の不良は人・物・金、全ての部分で悪影響を及ぼし、想定した事業計画をまっとうできず非常に悔しい期となってしまいました。

34期の反省を踏まえ、35期のマルト商事は「原点回帰」をテーマに据えて事業に取り組んで参ります。商売の基本である「良い原料を仕入れ、良い製品を製造し、他社より高い付加価値を付けて、お客様に喜んでご購入いただく。」シンプルですが、その商売の鉄則を一つずつ見直して行きます。とりわけ2年連続でお客様にご迷惑をおかけしている最大の要因である原料仕入れにおいては、これまでの慣習にとられず抜本的な改革を行います。

また、35期より社内組織において3名の課長を新任しております。玉葱加工部門を製造1課とし、課の責任者として、石川一文。野菜加工部門を製造2課とし、責任者として、戸澤豊。所沢アップセンター製造課責任者として葛西慎二。左記3名を新任の課長として据え、お客様に一層喜んでもらえるような商品を製造し、出荷して参ります。新任課長につきましては今後、皆様の前に顔を出ささせていただくことも増えるかと思えます。至らぬ点多々あるかと思いますが、ご指導頂けますようお願い致します。

以上の通り、マルト商事35期は「原点回帰」をテーマとし、原料にこだわり、良い商品を製造し、お客様に信頼されるよう全員必死の覚悟で邁進して参ります。設備も組織も新しい体制となります。今期も皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜り、ご愛顧頂けますよう何卒宜しくお願い致します。

2016年9月吉日

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315